

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【公開番号】特開2004-91265(P2004-91265A)

【公開日】平成16年3月25日(2004.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2004-012

【出願番号】特願2002-255425(P2002-255425)

【国際特許分類】

C 0 4 B 35/00 (2006.01)

C 2 3 C 14/34 (2006.01)

H 0 1 B 1/08 (2006.01)

H 0 1 L 31/04 (2006.01)

【F I】

C 0 4 B 35/00 J

C 2 3 C 14/34 A

H 0 1 B 1/08

H 0 1 L 31/04 M

H 0 1 L 31/04 H

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月24日(2006.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

主としてインジウムからなりタングステンを含む酸化物焼結体であり、主として、タングステンが固溶したピックスバイト型構造酸化インジウム結晶相および/またはタングステン酸インジウム化合物結晶相で構成され、酸化タングステン結晶相が存在しないことを特徴とする酸化物焼結体。

【請求項2】

比抵抗が1 k c m以下であることを特徴とする請求項1に記載の酸化物焼結体。

【請求項3】

比抵抗が5 0 c m以下であることを特徴とする請求項1に記載の酸化物焼結体。

【請求項4】

比抵抗が1 c m以下であることを特徴とする請求項1に記載の酸化物焼結体。

【請求項5】

比抵抗が 1×10^{-2} c m以下であることを特徴とする請求項1に記載の酸化物焼結体。

【請求項6】

比抵抗が 1×10^{-3} c m以下であることを特徴とする請求項1に記載の酸化物焼結体。

【請求項7】

タングステンの含有量が、W / I n原子比で0 . 0 0 1以上0 . 1 7以下であることを特徴とする請求項1から6のいずれかに記載の酸化物焼結体。

【請求項8】

主としてインジウムからなりタングステン及びスズを含む酸化物焼結体であり、主とし

て、タングステンとスズが固溶したピックスバイト型構造酸化インジウム結晶相および/
またはタングステン酸インジウム化合物結晶相および/またはスズ酸インジウム化合物結
晶相で構成され、酸化タングステン結晶相が存在しないことを特徴とする酸化物焼結体。

【請求項 9】

比抵抗が 1×10^{-2} $\Omega \cdot \text{cm}$ 以下であることを特徴とする請求項 8 に記載の酸化物焼結体。

【請求項 10】

比抵抗が 6×10^{-2} $\Omega \cdot \text{cm}$ 以下であることを特徴とする請求項 8 に記載の酸化物焼結体。

【請求項 11】

比抵抗が 1×10^{-2} $\Omega \cdot \text{cm}$ 以下であることを特徴とする請求項 8 に記載の酸化物焼結体。

【請求項 12】

比抵抗が 1×10^{-2} $\Omega \cdot \text{cm}$ 以下であることを特徴とする請求項 8 に記載の酸化物焼結体

。

【請求項 13】

比抵抗が 1×10^{-3} $\Omega \cdot \text{cm}$ 以下であることを特徴とする請求項 8 に記載の酸化物焼結体

。

【請求項 14】

タングステンの含有量が、W / In 原子比で 0.001 以上 0.17 以下であり、スズの含有量が、Sn / In 原子比で 0.001 以上 0.15 以下であることを特徴とする請求項 8 から 13 のいずれかに記載の酸化物焼結体。